



### (11) 課題解決の方法論について学ぶ：「探究講演会」



すことに焦らず、こかさに耐え忍ぶ能・ガティブ・ケイバビと呼びます。この概現代社会を生き抜くために注目されて能力の一つです。

17



**【目的】**課題研究において、探究することや「問い合わせ」を立てることの重要性、また文献を読むことや他者と対話することの必要性について理解する。

**【実施日】**令和7年10月20日(月) 14:10~16:00 (講演:探究2時間分)

**【講師】**弘前大学大学院教育学研究科 助教 若松 大輔 氏

(若松氏には本年度、本校学校運営協議会の委員としても御協力を頂いております。)

**【演題】**「問うことを通して風景を変える—脱「情報処理」としての探究—」

**【感想】**

- ・人生を充実させるには世界に対して能動的に取り組んでいくことが大切で、そのためには問い合わせもつことが大切。でも、問い合わせを持つためには知識がなくてはならない。だからさまざま文献を読み、たくさん疑問を持てるようにしたい。
- ・深く興味を持つ問い合わせるのは単に自分が知識不足だからなのと思った。まずは、文献をたくさん読んだり友達と情報共有したり、情報に触れる機会を増やしたい。
- ・今まで疑問に思ったことは調べて結果を知って解決だと思っていたが、なぜ疑問に感じたのかなども考えることにより人生を充実させられると思ったので、意識して物事を考えて生活していきたい。
- ・問わなければ世界が見えてこない、という文章に衝撃を覚えた。
- ・探究はやっていくうちにどんどん楽しくなるものなのだと感じた。楽しくないのはそういう教科だからと思っていたが、やっぱり自分がどれだけ参加できるかなんだと思った。